

空調ダクト清掃の質を向上させ、作業を効率化する

「ACVAシステム」は、ビルやマンション、店舗、公共施設、工場などにおけるダクト清掃について、全ての作業をスピーディーかつ正確に行うためのシステム。

「調査」「清掃」「消毒」「監視」の4つの工程により、空調システムの衛生的な保守管理を計画的・断続的に行うことができる。



システムイメージ図

■ 4つの工程

①調査 (サーベイ)

粉塵や微生物などによる汚染状況を、ファイバースコープや微粒子測定器等を用いて詳細にチェック。汚染状況は調査報告書にまとめられ、これをもとに清掃計画が立てられる。

②清掃 (クリーニング)

一定間隔でダクトに取り付けた本システム独自の「ACVAポイント」から清掃器具を挿入。ダクト内に圧縮空気を送り込み、粉塵やホコリを強制的に剥離させ、集塵機によって吸い出す。



本システムの要となる清掃・点検口「ACVAポイント」。ダクトに直径29mmの穴を開けるだけで容易に設置でき、設置により全ての作業を効率的に行うことが可能となる。

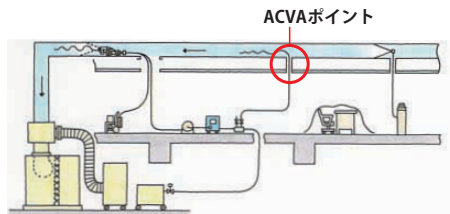
③消毒 (トリートメント)

ACVAポイントから噴霧ノズルを挿入し、空調システム専用開発された防菌・防カビ用の薬剤をダクト全体に散布。薬剤は人体には無害のため安心して施工できる。

④監視 (モニタリング)

ダクト内部にサンプラーを取り付け、内部の汚染状況を定期的にモニタリング。サンプラーはダクトの上流域と下流域に設置され、それぞれを比較することで汚染状況を判断する。

■ACVAシステムの基本原理



ダクトの下流域から清掃ツールを入れて粉塵を剥離させ、その後剥離した粉塵を集塵機で吸い取る。